

第2回下水道技術提案プレゼンテーション

日時:令和元年11月20日(水) 13:30~16:05

場所:クリーンピア諏訪 管理本館 4階 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 プレゼンテーション

13:40~16:05

1)室内発表 13:40 ~ 14:50

No.	(上段:展示物の有無) 提案件名	分類	提案者	発表時間
1	あり JIS A 5506の高さ調整部材及び無収縮モルタルの施工	管渠 土木	日之出水道機器(株)	13:40 ~ 13:55
2	あり 円形球面切断によるマンホール鉄蓋取替工事	管渠 土木	長島鋳物(株)	13:55 ~ 14:10
3	なし 難脱水汚泥(消化汚泥)に対する低含水率・低動力の脱水機	処理場 機械	(株)神鋼環境ソリューション	14:10 ~ 14:30
4	なし 汚泥処理における消化汚泥の減量化	処理場 機械	(有)レビュー	14:30 ~ 14:50

2)屋外発表 15:00 ~ 16:05

5	あり 下水道自立マンホール更生工法 RMI工法	管渠 土木	(株)東海ヒューム管	15:00 ~ 15:25
6	あり JIS A 5506の高さ調整部材及び無収縮モルタルの施工	管渠 土木	日之出水道機器(株)	15:25 ~ 15:45
7	あり 円形球面切断によるマンホール鉄蓋取替工事	管渠 土木	長島鋳物(株)	15:45 ~ 16:05

※発表時間には、準備、発表、質疑応答及び片付けを含みます。

4 閉 会

第2回下水道技術提案プレゼンテーション 【提案概要一覧】

No.	提案者 提案件名
1	<p>日之出水道機器株式会社</p> <p style="text-align: right;">13:40～13:55</p> <p>『IS A 5506の高さ調整部材及び無収縮モルタルの施工』</p> <p style="text-align: right;">15:25～15:45</p> <p>下水道用マンホール蓋の日本工業規格(以下「JIS A 5506」)が2018年12月に抜本改正されました。改正されたJIS A 5506では、マンホール蓋そのものについての規格だけでなく、施工方法についても附属書として記載されました。改正の目的は、近年の気象環境の変化と社会的要求や技術の進化沿って改正し、頻発している集中豪雨に対する安全性の普及促進を図ることを目的としており、附属書に蓋の施工、設置環境に応じた蓋の選定、維持管理に関する要領を示し、長期に亘る安全性確保を推進することとしています。今回の技術プレゼンでは、JIS A 5506に記載される高さ調整部材及び無収縮モルタルの施工実演を行い、JIS改正のポイントの周知を行うもの。</p>
2	<p>長島鑄物株式会社</p> <p style="text-align: right;">13:55～14:10</p> <p>『円形球面切断によるマンホール鉄蓋取替工事』</p> <p style="text-align: right;">15:45～16:05</p> <p>①円形球面状に切断することにより既設舗装と復旧モルタル面の接着面積が広くなる為、上部からの荷重を分散でき、密着性に優れている。</p> <p>②補修箇所の陥没や目地離れによる雨水の侵入を防ぎ、耐久性に優れている。</p> <p>③鉄蓋を設置した後の復旧材は充填後1時間の圧縮強度が10N/mm²以上、曲げ強度が3.5N/mm²以上で、上に達するモルタルとコテで仕上げることができる、樹脂系の表層材もしくはアスファルト系の表層材で構成されており、短時間施工、即日復旧が可能な工法である。</p> <p>④切断機は小型で単体移動が可能であり国県道はもちろん生活道路まで切断が可能。</p> <p>⑤アスファルト舗装、コンクリート舗装切断可能。</p>
3	<p>株式会社 神鋼環境ソリューション</p> <p style="text-align: right;">14:10～14:30</p> <p>『難脱水汚泥(消化汚泥)に対する低含水率・低動力の脱水機』</p> <p>下水汚泥処理において、脱水ケーキ含水率及び消費動力の低減は、LCC及び温室効果ガス排出量を大きく低減させる重要な技術課題です。今回は民間企業向けに多くの実績を持つ難脱水対応強化型スクリープレス脱水機をご提案いたします。本脱水機は、「適正な凝集フロックの形成」と「凝集フロックに合わせた適正な力を与える脱水」で消化汚泥等の難脱水汚泥に対しても含水率と消費動力を低減し、汚泥処理設備のLCC低減、温室効果ガス排出量低減を実現します。</p>

第2回下水道技術提案プレゼンテーション 【提案概要一覧】

No.	提案者 提案件名
4	<p>有限会社 レビュー</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">14:30～14:50</p> <p>『硝化汚泥減量化の実証実験』</p> <p>弊社は、排水処理で発生する有機汚泥の減量化と臭気・処理水質の改善に取り組んでいます。弊社の生物活性水”ドミノソース”による汚泥減量化と臭気・処理水質の改善は、排水処理装置の初期工程で、排水処理量に対して10mg/ℓ(100t/日の排水処理量に対して1ℓ/日)のドミノソースを添加するだけで余剰汚泥の排出量を減量化します。</p> <p>これまで公共下水道は、工場排水に比べ排水のBODも低く、汚水処理量が膨大なため実証実験に取り組んでおりませんでした。しかし、港湾での実証実験の結果から、汚泥処理における重力濃縮タンク、または消化タンクにドミノソースを添加することによって、消化汚泥の減量化、消化日数の短縮などに効果を発揮するのではないかと考えご提案させていただきました。</p>
5	<p>株式会社東海ヒューム管</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">15:00～15:25</p> <p>『下水道自立マンホール更生工法 RMⅠ工法』</p> <p>腐食などによって耐荷力が低下した既設マンホール内にレジンコンクリート製マンホールを挿入して更生する技術『RMI工法』を開発しました。</p> <p>更生用のレジンマンホールを、既設マンホール内に設置し、新規敷設のレジンマンホールと同等の耐酸性能を確保できるほか、耐震レベル1・2に対応。 特殊な機械や技術は不要でありコストダウンや工期短縮、ランニングコストの低減などが可能となります。</p>

※提案概要は、提案者から提出された内容を転記しております。